

生産性向上支援訓練 利用者の声



訓練後 受講者が講師となって職場教育を行いました RPAを導入しました

*訓練前の状況を教えてください。

使用しているシステムが全社的に古く、またトレンドであったRPAやDXに関して知識が希薄で、業務への活用ができていない状況にありました。

生産性向上支援訓練は、毎年様々な研修計画をお願いしておりましたので、今回も適した講師の選定をしていただけたと思います、お願いいたしました。

*訓練を利用した感想、および、受講者や職場の変化はありましたか。

受講前はDXの概念自体が曖昧でしたが、訓練後は理解することができ、DXに対する考え方が変わりました。

また、RPAについても、実践するためのロジックを理解し、積極活用に向けて本格的に意識を持つようになり、訓練後、受講者が講師となって職場教育を行い、RPAを導入しました。

今後は、社内でのAI活用を活発化するため、AIに関する訓練を増やし、実践していきたいです。

受講者の声

- 訓練前は、DXやRPAについての理解が少なく、特にRPAの作り方がわからず、自分だけで実践できる状況ではありませんでした。
- 訓練後は、DXの考え方を理解することができ、RPAについては、導入する場合の効果的な使い方を理解しました。そして実際にRPAを導入し「この業務にもRPAを使えるかもしれない」と効率的に考えるようになりました。
- 今後は、RPAを自分以外も使えるよう、職場内に広げ、RPAを皮切りに自動化・効率化をさらに進めたいです。また、今回は概念的内容が多かったので、実践的な内容の研修も受講したいです。

日東精工株式会社

事業内容

工業用ファスター、自動組立装置、計測・検査装置、メカカル製品

会社概要

綾部市井倉町梅ヶ畑20番地

創立 1938年 従業員数 522人

利用訓練コース

- ・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 (令和5年6月)
- ・IT新技術による業務改善 (令和5年7月)
- ・情報漏えいの原因と対応・対策 (令和5年8月)
- ・RPA活用 (令和5年9月)
- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善 (令和6年2月)